



今井小だより

横浜市立今井小学校

令和8年8月26日

学校だより 9月号

学校教育目標 : か が や い て い る 子 「自分大好き! 今井大好き!」

前期後半のスタート! ~失敗を恐れず挑戦する力を育むために~

校長 高嶋 聡

いよいよ前期後半のスタートです。夏休み中の千葉県での記録的な大雨では多くの地域で冠水や浸水などの被害が発生しました。また、7月末の熊本地震でも大変多くの方々が被災しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。9月1日は「防災の日」です。災害への備えの大切さを考える機会でもあります。本校でも、子どもたちが「自分の命を守る力」と「周りの人を思いやる心」を育めるよう、防災教育の充実に努めてまいります。

子どもたちは夏休み中それぞれに充実した日々を過ごし、多くの経験を積んだことと思います。大きな事故や事件の報告もなく新学期を迎えられることを大変うれしく思っています。これも、家庭や地域の皆様が子どもたちを温かく見守り支えてくださったおかげです。心より感謝申し上げます。久しぶりに子どもたちが登校し、友達との再会を喜びながら、元気な笑顔で学校生活を再開してくれることを楽しみにしています。

夏休み明けも厳しい残暑が予想されます。生活リズムの変化から体調を崩しやすい時期でもありますので、学校では暑さ指数に応じた活動の調整や熱中症対策を徹底し、子どもたちの健康・安全を第一に教育活動を進めてまいります。

さて、私はこの夏の研修で、これからの社会を生きる子どもたちに求められる力について学ぶ機会がありました。急速に変化する社会の中では、指示されたことを正確にこなすだけでなく、自ら考え、選択し、行動できる力がますます大切になります。そのためには、「失敗しない子」を育てるのではなく、「失敗を恐れず挑戦できる子」を育てることが重要であると改めて感じました。

難しいことや苦手なことに挑戦するには勇気が必要です。失敗するかもしれないという不安や、途中で思うようにいかずつまずくこともあるでしょう。しかし、失敗を好んでする人はいませんし、誰もが失敗を経験しながら成長していきます。私自身もこれまで数多くの失敗を重ねてきましたが、振り返ると成功以上に多くのことを失敗から学んできたように思います。

成長の途中にある子どもたちにとって、失敗は決して避けるべきものではありません。失敗から気づきを得て、新たな一歩を踏み出すことに大きな価値があります。大人の役割は、転ばないように先回りして道を整えることだけではなく、転んでも温かく見守り、再び立ち上がる勇気を与えることではないでしょうか。周囲の励ましや支えが、子どもたちの挑戦を後押しする大きな力になります。

子どもたちには、「できる・できない」にとらわれるのではなく、「まずはやってみよう」「もう少し続けてみよう」という気持ちを育んでほしいと願っています。結果だけを求めると失敗を恐れて挑戦を避けてしまいがちですが、自分なりの目標に向かって努力する経験は、粘り強さや自信、問題解決力といった「生きる力」を育てます。また、自分の努力を認められる子は、友達の頑張りにも気づき、認め合うことができるようになります。

9月からは運動会(今リンピック)に向けた取組も始まります。練習や行事の中では、うまくいくことばかりではありません。しかし、その一つ一つの経験こそが子どもたちを成長させる貴重な機会です。私たち教職員は、一人ひとりの小さな挑戦や努力を見逃さず、安心してチャレンジできる環境づくりに努めてまいります。そして、失敗も成長の過程として受け止めながら、子どもたちの可能性を伸ばしていきたいと考えています。

前期後半も多くの行事や学習活動が予定されています。担任だけでなく全教職員で子どもたちに寄り添い、保護者の皆様の声に耳を傾けながら、健やかな成長を支えてまいります。今後とも学校と家庭が手を取り合い、子どもたちの挑戦を温かく見守っていただければ幸いです。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。